**京都府環境審議会廃棄物・循環型社会形成部会　議事要旨**

1. 開催日時

平成23年６月７日（火曜日）午後２時から午後３時45分まで

1. 場　所

京都平安ホテル　白河の間

1. 出席者

【部会委員】植田委員、栗田委員、郡嶌委員、酒井委員、寺島委員、星川委員、

松井委員、山口委員、山田委員（計９名）

※上記のうち、次の委員は代理出席

　　　 　　　　　星川委員（代理：長谷川京都市環境局循環型社会推進部長）

【事務局】　石野環境政策監、伊藤環境技術専門監、越智循環型社会推進課長、

佐藤参事、その他関係職員

【報道機関】１社

【傍聴者】　２名

1. 議　題

（１）部会長の選出

（２）諮問事項

（３）報告事項

1. 本府における計画の進捗状況について
2. 今後のスケジュールについて
3. 議事概要＜主な意見＞
4. 部会長の選出

委員の互選により、郡嶌委員が部会長に選出された。

1. 諮問事項

京都府循環型社会形成計画の策定について

1. 報告事項

本府における計画の進捗状況について

* 廃棄物処理業者が抱える課題を、次期計画では把握すべきである。
* 府として、森林資源やオフィスから発生するバイオマスをどのようにリサイクルするかも計画に織り込むべきである。
* 農業、林業、廃棄物を併せて未利用資源と考え、再生可能エネルギー等としての活用策を考えるべきである。
* 循環型社会形成計画は、総合的な環境政策に広がる可能性を持つ計画であるが、本部会ではごみを中心に考え、関連した視点から、環境ビジネスの成立性を検討すべきである。
* 行政が住民の取組にどこまで関与できるかも考えるべきである。
* 地方自治体が実施してきたバイオマス事業の失敗例を踏まえ、今後の計画のために知恵を出していきたい。
	+ これからは、人工的は循環ではなく、自然循環が重要になってくる。さまざまなリスクから自立し、リスクの軽減と安心･安全な社会につなげるべきである。